

小笠原海域における遊漁による底魚、かつお及びまぐろの 採捕制限に係る委員会指示について

1 指示事項

小笠原海域の船舶を使用した底魚、かつお及びまぐろの遊漁案内又は採捕の制限

2 指示開始年 平成 3 年 7 月 2 日
(第 65 回小笠原海区漁業調整委員会)

3 有効期間 1 年間(毎年更新)
令和 3 年 7 月 1 日から令和 4 年 6 月 30 日まで

4 指示の目的

小笠原海域で、内地の大型遊漁船による操業が行われるようになってきた。

- ① 小笠原海域では、漁業者の行う「底魚一本釣り漁業」の使用船舶の上限が、知事の許認可方針で総トン数 60 トン未満になっていること。
- ② 総トン数 10 トン以上の漁船については、許認可方針等で 3 海里以内を操業禁止区域としていること。

などの理由から、遊漁においても同様の制限が必要となったため。

5 指示対象者 遊漁案内業者、遊漁者(一本釣り、ひき縄)

6 対象魚種

底魚：はまだい、ひめだい、あおだい、きんめだい、めだい、れんこだい、さくらだい、むつ類、ぶり類、はた類等(平成 15 年 10 月 2 日 第 115 回小笠原海区委員会を確認)

かつお、まぐろ

7 主たる内容

- ① 総トン数 60 トン以上の船舶を使用して底魚、かつお及びまぐろを対象とした遊漁案内又は遊漁による底魚、かつお及びまぐろの採捕制限。
- ② 小笠原村陸岸から 3 海里以内の海面において、総トン数 10 トン以上の船舶を使用して底魚、かつお及びまぐろを対象とした遊漁の案内又は遊漁による底魚、かつお及びまぐろの採捕制限。

東京漁調指示第7号(案)

東京海区(小笠原海域に限る。)における船舶を使用した底魚、かつお及びまぐろの採捕について、漁業法(昭和24年法律第267号)第120条第1項の規定に基づき、次のとおり制限する。

令和3年 月 日(公報登載日)

東京海区漁業調整委員会

会長 有元 貴文

(採捕の禁止)

- 1 東京海区(小笠原海域に限る。)において、総トン数60トン以上の船舶を使用して底魚、かつお及びまぐろを対象とした遊漁の案内を行い、又は遊漁による底魚、かつお及びまぐろを採捕してはならない。また、小笠原村陸岸から3海里以内の海面において、総トン数10トン以上の船舶を使用して底魚、かつお及びまぐろを対象とした遊漁の案内を行い、又は遊漁による底魚、かつお及びまぐろを採捕してはならない。

(指示の有効期間)

- 2 この指示の有効期間は、令和3年7月1日から令和4年6月30日までとする。

注) _____ 今回の変更箇所